

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: 今治市菅菊間緑の広場公園運動場総合体育館 Fコート

試合区分: No. 21 成年女子 準々決勝

期 日: 2017(H29)年10月3日(火)

開始時間: 15:15

終了時間: 16:45



主審: 福岡 敏徳

副審: 高野 晃平

山梨 (関東)	○ 69	25	—	19	● 65	山形 (東北)
		17	—	13		
		13	—	19		
		14	—	14		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	後藤 沙奈	3	0	1	1	2	6	3
5		山本 千加	4	0	2	0	2	3	0
6	*	丸 由梨乃	20	0	9	2	4	7	1
7	*	山本 由真	33	6	5	5	2	5	2
8		上原ひかり	—	—	—	—	—	—	—
9		島立 瑛子	—	—	—	—	—	—	—
11	*	徳原ちひろ	2	0	1	0	1	1	0
12		高木 志歩	5	0	2	1	2	2	1
13		黒山 佳奈	—	—	—	—	—	—	—
14	*	大澤 来彩	2	0	1	0	2	0	1
15		石川明日香	0	0	0	0	0	0	0
HC		梅寄 英毅 / TEAM							
		合計	69	6	21	9	15	24	8

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		中村 早希	0	0	0	0	1	0	0
5		高橋 美緒	0	0	0	0	0	0	0
6		渋谷実菜子	9	1	1	4	2	4	2
7	*	青山 彩七	5	1	1	0	0	2	1
8	*	鈴木 智美	3	1	0	0	5	6	5
9		澤口 志穂	0	0	0	0	2	1	0
10		倉永あずさ	0	0	0	0	0	0	1
11	*	赤川 愛	11	1	4	0	1	5	0
12	*	深井 夢	18	6	0	0	3	4	2
13		木村 有沙	2	0	1	0	0	2	0
14	*	佐藤ひかる	17	0	5	7	3	6	4
HC		福島 雅人 / TEAM							
		合計	65	10	12	11	17	30	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンでスタート。開始山形県は#7のジャンプシュートで先制。さらに#11、#14がゴール下で決め、0-6とリードする。一方山梨県も#7が3P、#4がバスケットカウントと連続で決めて反撃。残り4分半には山梨県#6のジャンプシュートで逆転すると、さらに#7が3Pを決めて流れは完全に山梨県へ。粘る山形県も得点するが、山梨県#6、7の得点を止めることができず、25-19と山梨県が6点リードで終了。
 第2ピリオド開始すぐ、山梨県#7が4本目の3Pを決めてリードを広げる。さらに#5も得点し、山形県は開始40秒でタイムアウトを取る。その後、山形県は#11、#12が3Pを決めて食らいつく。逆に苦しくなった山梨県は、ディフェンスを2-3のゾーンに変えると、再び山梨県のリズムとなり、最後は#7がプザービーター3Pを決めて、42-32と山梨県が再び点差を広げ終了。
 第3ピリオド、山梨県は2-3ゾーンを続ける。何とかゾーンを攻略したい山形県だが、なかなか3Pが決まらず厳しい展開となる。しかし山形県は後半2回目のタイムアウトを取ると、#12が2本連続で3Pを決めて、勝利への執念を見せる。残り39秒には#12がバスケットカウントで3Pを決め、55-51と4点差まで山形県が点差を縮めて終了。
 第4ピリオド、まず山梨県が連続得点で流れをつかむ。山形県もオールコートの1-2-1-1ゾーンで逆転をねらう。両チーム譲らず接戦の中、残り3分に山形県#6が3Pを決め、ついに逆転。さらに追加点を奪い3点差とするが、残り58秒で山形県#8がファウルアウト。すると山梨県が2本のドライブインで大逆転。残り21秒で山形県ボールとなったが山梨県が守りきり、69対65で山梨県が勝利した。大接戦で手に汗握る白熱した試合となった。

担当者: 松本 光弘(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

